

就職活動のポイント（就職決定までの活動ステップ）

1. 準備をする

- ・目標、条件設定をする
- ・家族との十分な話し合いをする
- ・行動計画をたてる
- ・情報入手の依頼先をリストアップする
- ・履歴書、職務経歴書の作成の準備をする

2. 行動

- ・ハローワーク・人材会社に登録する
- ・電話による紹介依頼をし、紹介してくれそうな人を直接訪問する
- ・情報閲覧をする（ハローワーク、インターネットなど）
- ・求人広告をチェックする（新聞、雑誌など）
- ・求職市場状況などの関連情報をチェックする

3. 応募

- ・自己分析を充分に行う
- ・自身のスキルと募集内容をマッチさせる
- ・企業情報を調査する
- ・書類の提出の仕方に工夫する

4. 面接

- ・現地を下見する
- ・企業情報を詳しく調査する
- ・質疑応答対策をする
- ・できればロールプレイを行う
- ・礼状を出す
- ・待機する（スケジュール調整など）

5. 判断

- ・内定連絡を待つ
- ・雇用条件を再確認する
- ・企業内容を調査する
- ・関連する企業や個人に報告する

就職活動の計画を立てる

①雇用情勢の再確認

- 市場動向（北海道・札幌市）
- 求人職種
- 求人情報源

②ライフプラン・マネープランの設計

- 今後の収支の見通しをたて、家計の修正計画をつくる
- そのための家族の協力が必要

③目標設定と制約条件の確認

- 業種、職種、雇用形態、勤務時間、休日等の目標設定
- 自分を取り巻く環境、自己の健康・体力等、希望と妥協点の確認

④自己の棚卸し及び、職務の棚卸し

- 今までに経験した職務と業績及び、努力し培ってきた能力や技能の整理
- 何が出来るか、何が出来ないかの確認
- 得意分野、特技、資格などの能力の整理
- 「自分の売り」、「セールスポイント」の発見、確認、整理

⑤応募書類の作成

- 履歴書の作成
- 職務経歴書の作成
- 添え状の作成
- 礼状の作成

⑥面接対策

- 面接対策としての訓練
- 予備知識の修得
- ロールプレイ

就職活動のニーズと情報活用

(1) 就職活動の道内ニーズ

求人案件には顕在求人と潜在求人があります。

- 顕在求人
 - ・ ハローワーク
 - ・ 新聞広告
 - ・ 求人情報誌
 - ・ インターネット
- 潜在求人
 - ・ 人材会社契約
 - ・ その他――自己開拓

(2) 求人情報ツールと就職方法

- ① 求人情報から選択
- ② 企業情報を得て、自分で直接売り込む・・・自己開拓
- ③ 人材会社のサポートを受ける
- ④ 友人、知人、先輩、親戚からの紹介・・・条件が良い可能性が高い

企業・仕事選びのチェック

企業社会の三種の神器「年功序列、終身雇用、企業内組合」の制度が崩れ、大企業といえども安定するとは限らない状況になっています。

そこで、企業選びにおいて、発想の転換が必要です。

(1) 仕事選びのチェック項目

- 仕事のやりがいがある？
- 給料が高いか低い？
- 企業の売上高や経常利益は伸びているか？
- 企業風土、社員を大切にする会社か？
- 能力主義で福利厚生が充実しているか？

(2) 異業種・異職種を選ぶ場合のポイント

- 慎重な検討と覚悟が必要
- 企業文化が違うので、柔軟性が要求される
- 職種を変える場合、熱意や意欲だけでは駄目です。事前に知識を身に付けておく必要があります。

求人情報に記載されている条件とは

1. 職種
2. 契約上の雇用形態（正社員 契約社員 嘱託社員 派遣社員 パート）
3. 仕事内容
4. 就業場所
5. 賃金支払い方法（年俸制 月給制 日額制 日額月給制 時間給）
6. 手当（住宅 家族 燃料 営業 通勤）
7. 勤務時間と時間外労働 交代制
8. 昇給 賞与
9. 休日 休暇
10. 加入保険（健康保険 厚生年金 雇用保険 労災 企業年金）
11. 定年制
12. 退職金制度
13. 勤務延長制度 再雇用
14. 学歴
15. 必要な資格 免許
16. 年齢
17. 労働組合
18. 試用期間
19. 育休業制度
20. マイカー通勤

あなたが優先したい条件を考えておきましょう。